

コミュニティスクールかわら版（※「生涯学習プログラムガイド集」から名称変更しました）

# みんなで作るコミュニティスクール

発行：長野県教育委員会事務局 生涯学習課

No. 27 (R 6 (2024). 12)

コミュニティスクールかわら版（旧生涯学習プログラムガイド集）ホームページ URL：  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/bunka/shogai/guide.html>

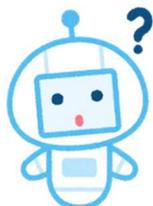
## コミュニティスクール検討会

長野県においてコミュニティスクール※<sub>1</sub>はすべての公立小中義務教育学校に導入され、地域と学校による協働活動の充実など一定の成果を上げてきています。一方、学校運営参画については、その意義の周知や地域住民による参画の方法など様々な課題が生じてきています。そこで、昨年度よりコミュニティスクール検討会を開催し、市町村教育委員会や学校が抱える課題を共有し、地域の方々による学校運営参画の在り方について外部関係者から意見をお聞きしてきました。

今回のコミュニティスクールかわら版では、コミュニティスクール検討会において検討された内容について「最終まとめ」を基に紹介します。

※1 信州型、国型を含みます

### なぜ、地域住民等による学校運営参画が必要なのか



検討会でも話題になった「学校運営参画」ってそもそも何なの？

家庭・地域・学校が目指す子ども像（ビジョン）を共有、それぞれが教育の当事者として対等な関係（パートナーシップ）を構築し、学校に携わる多様な人たちが連携・協働して学校運営に主体的に参加することだよ。

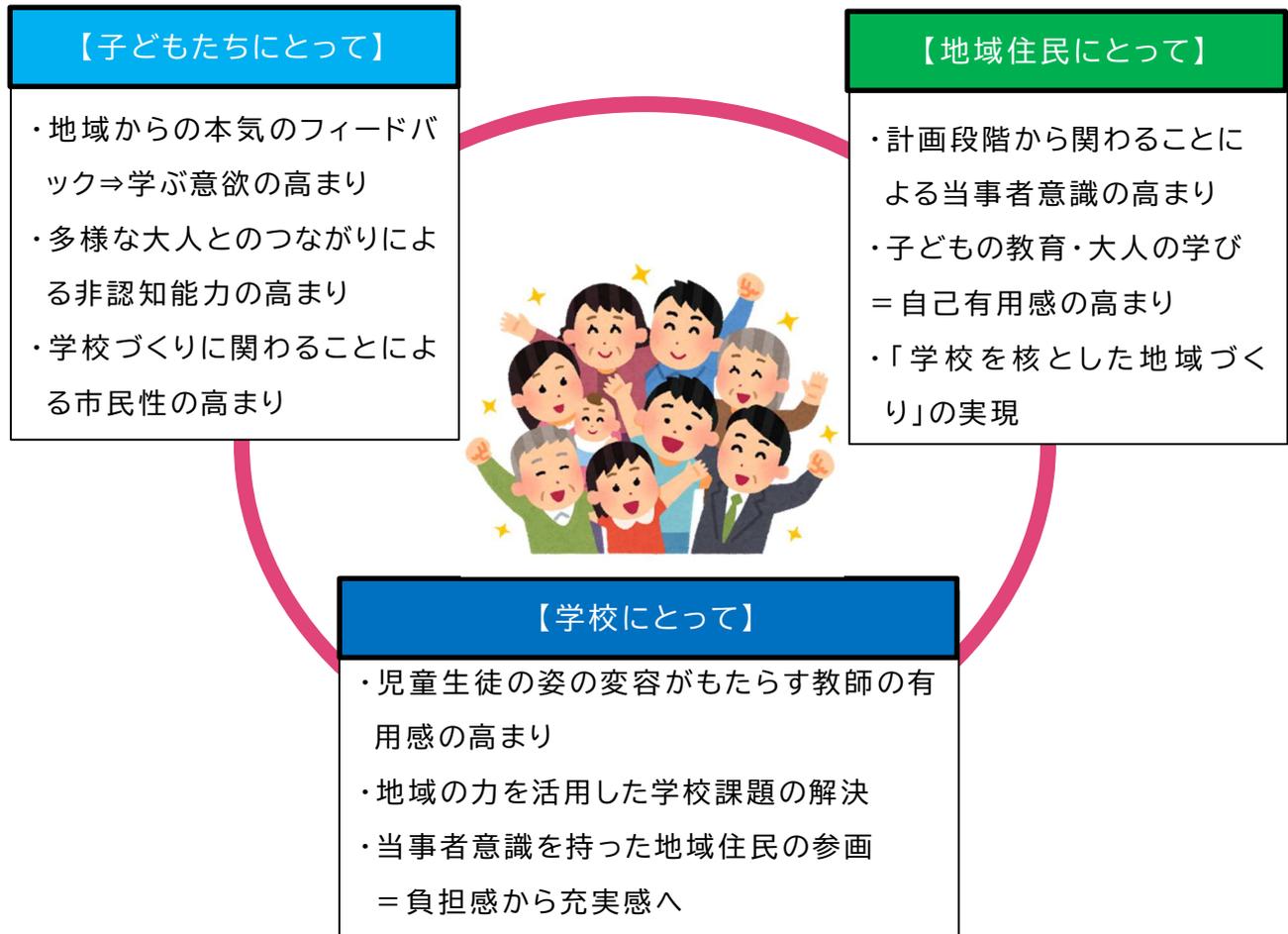


どうして「学校運営参画」が必要なの？地域の方々と一緒に楽しく活動ができているよ！

確かに、コミュニティスクールの導入により長野県の協働活動は多様な実践が報告されているね。ただ、今回の検討会では学校運営参画には、「地域住民」「子ども」「学校」にとってそれぞれのメリットがあると意見が出されたんだ。



## ○学校運営参画の意義



検討会では、長野県における「学校運営参画」のメリットだけでなく「学校運営参画」充実のためには課題もあるという意見が出たよ。それがこの3つの課題なんだ



### 検討会において示唆された地域との連携における3つの課題

- ・学校運営のどの部分に参画いただくかには難しさがあり学校ごとの議論が必要
- ・現在の活動の良さや課題を地域と学校で共有することが必要
- ・地域・学校・保護者総掛かりで子どもを育てる意識への変化が必要



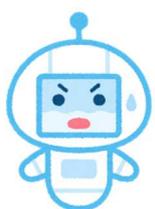
そうかあ。「学校運営参画」と言っても大変なこともありそうだなあ…。でも、充実させていくことで「子ども」も「学校」も「地域」にもいいことがたくさんありそう…なんとかならないの？

## 学校運営参画を充実させるために必要なこと

検討会では、学校運営参画充実のために4つのポイントが挙げられました。

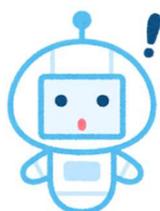


- ポイント① 教職員と関係者のコミュニケーションの活性化
- ポイント② 関係者の意識やモチベーションを高める取り組みとスキルアップ
- ポイント③ 子どもたちが学校運営に参画する機会をつくる
- ポイント④ 地域住民にとってのやりがい、居場所、責任感



え！こんなに？これ全部は無理だよ…

全部、いっぺんにやってみる必要はないよ。「取り組みそうなこと」や「これならみんなで楽しくできそう！」というところから取り組めるといいね。



運営委員会・協議会の中で地域住民とやってみたいことや気になること、学校の先生方がやってみたいことや困っていることを出し合って、率直に意見交換をすることが大切なんだね。でも、それって難しそう。

地域と学校の関係性はそれぞれ違いがあるよね。もちろん関係性の深さにも違いがあって当然だね。焦らず、一つ一つ関係を作っていくね。

そんな地域・学校ごとの関係性の違いに対して、検討会では『学校と地域の連携・協働には段階がある』という意見が出されたよ。

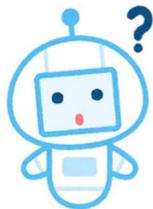


そんな地域と学校の連携・協働の段階の可視化を目指して作られたツールが「学校運営参画のステージ」なんだ。詳しくは、県HP(QRコード)から第4回検討事務局説明をダウンロードしてみてね。



【県HP】

## 長野県におけるコミュニティスクールの推進について



「学校運営参画」が大事なことはなんとなくわかってきたけど…結局、どうしていく必要があるの？

検討会では、今後コミュニティスクールに求められることを次のようにまとめたよ。



### 今後推進していくためのポイント

学校を内外に開く学校長の学校経営ビジョンに基づく学校づくりの実施

- ・ 子どもと地域の声や必要感が活かされる学校づくり
- ・ 子ども・保護者・教員・地域の人が 当事者意識を持って学校運営へ参画
- ・ コーディネート機能の 充実と継続性の担保
- ・ 市町村教育委員会のリーダーシップによる 信州型 CS の進化や国型 CS 導入検討



検討会で出されたポイントをもとに地域と学校の連携について改めて考えてみたいね。

コミュニティスクールは、「社会に開かれた教育課程」の実現、地域と学校の連携を進めるためのツールの一つです。この仕組みを活用して、何を実現させるかは地域・学校ごとに特色があります。県教育委員会としては、今後、各学校・地域が連携・協働して学校づくりを進めていくための伴走支援を充実させていくことを検討しています。

【文責：長野県教育委員会事務局 生涯学習課指導主事 山極正夫】

# コミュニティスクール検討会 最終まとめ(概要)

経緯：「学校運営参画」と「地域学校協働活動」の更なる一体的推進・充実のため、コミュニティスクール(CS)に関係する方々による意見交換を行い、今後の方向性を検討する会議を開催する

委員構成：座長 早坂 淳 委員 上沼 昭彦 河西 哲也 塩原 雅由 城村 義人 傳田 智子 伴 美佐子 堀田 茂樹 (敬称略)

検討過程：オンライン開催 全5回(第1回 R6 1/25 第2回 3/7 第3回 5/7 第4回 7/10 第5回 9/3)

## 1. なぜ学校運営参画が必要なのか

### ○学校運営参画の意味

#### 【地域住民にとって】

- ・計画段階から関わることによる当事者意識の高まり
- ・子どもの教育・大人の学び＝自己有用感の高まり
- ・「学校を核とした地域づくり」の実現

#### 【子どもたちにとって】

- ・地域からの本気のフィードバック⇒学び意欲の高まり
- ・多様な大人とのつながりによる非認知能力の高まり
- ・学校づくりに関わることによる市民性の高まり

#### 【学校にとって】

- ・児童生徒の姿の変容がもたらす教師の有用感の高まり
- ・地域の力を活用した学校課題の解決
- ・当事者意識を持った地域住民の参画＝負担感から充実感へ

### ○学校運営参画の課題

- 学校と地域の温度差(学校運営のどの部分に参画いただくかは難しさがあり学校ごとの議論が必要)
- 課題や目指すべき方向性などの可視化(現在の活動の良さや課題を地域と学校で共有することが必要)
- 地域・学校ともに根強いこれまでの教育観(地域・学校・保護者が総掛かりで子どもを育てる意識への変化が必要)

## 2. 学校運営参画を充実させるために必要なこと

### ○学校運営参画充実のためのポイント

- ・教職員とのコミュニケーションの活性化
- ・意識やモチベーションを高める取り組みや指導力の向上が重要
- ・子どもたちが学校運営に参画することが学校を開いていく第一歩
- ・地域住民にとってのやりがい、居場所、責任感が必要不可欠

### ○学校と地域の連携・協働における段階

- ・ゆっくりと地域も学校も歩み寄るように連携・協働のきずなが深まる
- ・それぞれ地域の取組の濃淡、スピード感によって違いがあってもよい
- ・多様な立場・考え方が一つの場に混ざり合う＝議論の難しさの要因
- ⇒現在の立ち位置を可視化する必要がある

### ○学校・地域で起こる変化

- ・子供たちの成長や変化が教師の負担感を充実感へ変えていく
- ⇒この過程で地域とのつながりの意味や意義が理解される
- ・継続的にかかわる人たちの存在と同時に常に新しい当事者を招き入れる仕組みや体制づくりが必要

## 3. 長野県におけるコミュニティスクールの推進について

### 今後推進していくためのポイント

#### 地域学校協働活動の視点から

- ・課題解決の中で生まれる教諭の必要感
- ⇒地域との中で生まれる授業へのワクワク感
- ・地域と子どもの必要感を重ねた協働活動
- ⇒「子どもと地域とともに創るカリキュラム」の実現

#### 仕組(cs)の視点から

- ・支援の関係性のままでは頭打ち
- ⇒権限の委譲が必要ではないか
- ・コミュニティスクールの形や取組は多様性や濃淡があってもよいのではないか
- ・義務感からのつながりから「ワクワク」や「面白そう」によるつながりへ変化

### 今後のコミュニティスクールに求められること

#### 学校を内外に開く学校長の学校経営ビジョンに基づく学校づくりの実施

- ・子どもと地域の声や必要感が生かされる学校づくり
- ・子ども・教員・地域の人が当事者意識を持って学校運営へ参画
- ・コーディネート機能の充実と継続性の担保
- ・市町村教育委員会のリーダーシップによる信州型CSの進化や国型CS導入検討